

通信で得られる情報

この「平成維新フォーラム」で得られる情報は、従来は主として「会員相互のコミュニケーション」と「平成維新の会からの公式発表」のようなものでした。これに加えて現在（原稿執筆時点で）準備中の再編成によって、大前さんからのメッセージが大幅に充実します。この点についてご紹介いたします。

平成維新の会では従来から「維新伝信」という会報を発行していました。現在ではこの「維新伝信」が「大前研一通信」という形に変わって従来の会員に送付されています。この「大前研一通信」をご覧になった方はおわかりだと思いますが従来のスタイルの「維新伝信」に比べると大前さんが直接発信するメッセージの比重が非常に大きくなっています。この新しい会報の送付の方法はFAX（毎月2回）または郵送（月1回にまとめて送付）というのが現状の方法ですが、この「大前研一通信」の購読方法の3番目として「平成維新フォーラムを通じて購読する」という手段が追加されることになりました。これに伴ってフォーラムの方も再編成をおこなって「大前研一と会員とを直接結び付ける情報メディアとしての再スタートが行われます。

この変更を「平成維新フォーラム」の側から言えば、従来の内容に比べて大前さんが直接発信する情報（大前研一通信や新聞・雑誌などの記事など）が大幅に増えることとなります。このための場所（電子会議室など）を

設定するための再編成をして新しい「平成維新フォーラム」がスタートします。

参加のしかたなど

以上ご紹介した「平成維新フォーラム」に参加するためにはまずNIFTY-Serveの会員にならなければなりません。その手続きをした上でNIFTY-Serveに接続して「GO HEISEI」という命令を打ち込んでフォーラムに参加するという手続きが必要になります。はじめての時は少々厄介な手順が必要ですが、この記事を読んで「平成維新フォーラム」に関心を持ってくださった方は、是非ご参加下さい。

パソコン通信というのは体験したことのない人にとっては解りにくいものです。新たに参加しようという方々を支援するために都民の会でも「パソコン通信普及委員会」という委員会を設置しました。また、この委員会以外にも「生活者通信」に掲載されている各種の名簿には「NIFTY-ID」が記載されている人が多いのは、前号と今号を読んでくださった方はお気づきだと思います。これらの方々は現在NIFTY-Serveに参加している経験者ですので、お近くの会員に気軽に問い合わせしてみてください。パソコンやワープロは機種によって仕組みが異なりますので、最初に問い合わせた相手がすべての質問に答えてくれるとは限りませんが、有益なアドバイスを得たり、お手持ちの機種のパソコンやワープロに詳しい人を紹介してもらえるとと思います。

大前研一通信からのお知らせ

THE REFORMER HEISEI

『大前研一通信』は新しい維新伝信の「広場」です。

皆さん日本のマスメディアがいよいよ本当のことを書かなくなりましたね。戦前とそっくりの現象です。



例えば最近だけでも・・・

- 本誌情報に裏付けが押し寄せたのに「一万人が長い列を作った」と報じた・・・どこまで信得できる情報が集り切れるのだろうか？
- ユーゴの明石国選代表はすでに實質的に解任されているのに日本では報道されていない・・・外務省の顔がたたない。
- ムーデイスの横付けを「けしからん」と言い、もうデータを出すまいと金銭難局の人がいる・・・何やら閣内連立派の時の態度に似ている。
- 橋本一家（オウム教団の幹部）や朝木明代さん（反原発学会実行委員長）などの死について、新聞も警察も報道しなくなった・・・新聞は読者層に広がる大きな利益団体に関して、不利なことは正しく報道しない。
- 慶幸大蔵長官から増収と赤字減税案の中に出て争論は「争論がない」とキャットローションを決めた・・・ジャーナリストが争論がないということを目指すのは自らの情報意識の放棄につながるの・・・などなど

これらはいずれもほんの一例に過ぎませんが、私たちが独自の情報入手のチャンネルを持ち、またお互いに意見を交換する機会が必要だ！ということではないでしょうか。

私は2005年までに「平成維新」の実現をはかりたいと社会・政治システムの改革に情熱を傾けています。

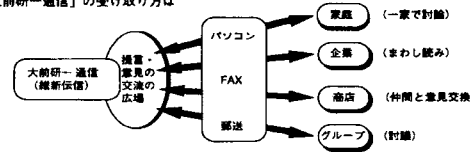
「平成維新」とは

- 生活者中心の政治・行政
- 真に自立した地方自治
- 世界との共生

の実現を目指す「政策提言型市民運動」です。いま政治や行政の進展の中ではまず保守化が進み、体制維持志向が強くなっていますが、必ずや近い将来このような自己中心的な日本の政治や行政のやり方は破綻すると見られます。その弊に翻った方向に行かないよう今から私たちお互いの情報流、意見を交換し、できることなら進むべき方向についての合理的なコンセンサスを導く必要があるでしょう。大前研一通信（維新伝信）はそのような目的のために設けられた「町内会」をめざします。

平成維新の会では年会費の更新時などに下記のご案内をお送りしています。お問い合わせ先は FAX 03-3263-2430 入会フリーダイヤル：0120-146086

「大前研一通信」の受け取り方は



郵送 (月1回、まとめてのお届けとなります)
FAX (2週間に1回、指定のFAXにお送りします)
パソコン通信 (NIFTYの中で「GO HEISEI」と打てばいつでもアクセスできます。)

上記の三通りの中から自由に選んで頂きます。

またより大切なことは、維新伝信は通信員の方々と私との絆の「広場」である ということです。このため質問や意見があれば

- FAX: 03-3263-2430
- Nifty Serve (パソコン通信): GHD01705 (大前研一通信)
- Internet: kenohmae@cat.oc.jp (大前研一通信)

に送って下さい。私の方でそれを読み、そして分析した上で次の号を作成していきたいと思えます。つまり「平成維新の会」の設立の趣意書にもある「政策提言型市民運動」に一人でも多くの人に参加して頂きたいのです。また皆さんの意見を随時や随時の方に届ける役割は私が担います。

会の運営や通信の費用として年間一万円の会費を頂きますが、赤字運営ですので、なるべくコストの安いパソコン通信を使って頂けると助かります。パソコン通信では維新伝信に私の最近書いた論文やいろいろな分野も同時にのぞけるようになっています。また、その中で2年間の維新フォーラムの経験を活かして、会員同士が日本を本場の生活者中心の国にしてゆくための政策討論が行えるようになっていきます。

申し込みは TEL 03-3264-2411 FAX 03-3263-2430
フリーダイヤル 0120-146086
Nifty (申込みIDは、10月よりお知らせいたします)

皆様と「広場」でお会いできることを楽しみにしております。

大前研一